KITAGAS

株主の皆さまへ

2019 年度第 2 四半期

北海道ガス株式会社

証券コード：9534

省エネ・低炭素化を推進し、地域社会とともに成長する企業グループを目指す

代表取締役社長　**大槻　博**

上半期の業績について

当第２四半期の連結決算は、３期連続の増収、２期ぶりの増益となりました。

ガス販売量は、春先の高気温により暖房需要が減少したものの、お客さま件数の増加等により、前年同期を上回る結果となりました。ガス売上高は、ガス販売量の増加や原料費調整制度による販売単価上昇の影響を受けて増収となりました。

また、電力事業につきましても、お客さま件数の増加や石狩発電所の稼働に伴う卸売販売量の増加等により、販売量は前年同期に比べ大きく増加し、売上高は増収となりました。

さらに、北ガスフレアストによるガス機器販売や熱供給事業における販売量の増加等もあり、第２四半期の売上高としては前年同期に続き過去最高を更新しました。

今後の取り組みについて

当社では、「総合エネルギーサービス事業」の展開に向けて「ガス事業基盤の強化」「電力事業の推進」「北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開」を3本柱として各施策に積極的に取り組んでいます。

ガス事業については、家庭用の新築分野におけるシェアの維持・向上と、灯油等の他燃料からガスへの切り替え営業を積極的に進めるとともに、ガス導管の整備とあわせた営業活動の展開により、新たなお客さまを獲得し、ガス普及率の向上と将来の顧客基盤づくりを進めます。また、業務用分野においてはターゲットを絞った効率的な営業活動を展開するとともに、BCPに対応する天然ガスコージェネレーションシステムの提案を積極的に進めてまいります。

電力事業については、今年度の目標であるお客さま件数１７万２千件の早期達成に向けて、引き続き、北ガスフレアストの接点機会を活かした営業活動の強化とともに、北ガスポイントサービスの拡充等を進め、さらなる普及拡大を進めてまいります。また、自社電源である「石狩発電所」に続き、７月より稼働した「札幌発電所」により、電力の供給安定性を高めるとともに、再生可能エネルギーの活用と合わせて環境負荷を低減し、競争力の強化を図ってまいります。

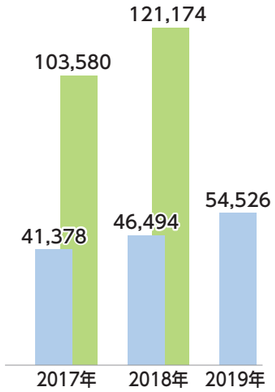
北ガス版エネルギーマネジメントシステム（EMS）については、家庭用EMS「EMINEL」の普及拡大の他、当社札幌工場跡地であります「北4東6周辺地区」の市街地再開発エリアにおいて、地域EMSによるエネルギーの面的利用事業を開始しました。これらに加え、地域・自治体との連携の取り組みを引き続き進め、地域資源を活用した道内全域でのエネルギーの地産地消の推進を図ってまいります。このような、家庭や地域でのエネルギーマネジメントサービスの展開により、お客さまとともに省エネ・低炭素化に積極的に取り組んでまいります。

以上の取り組みを通じて、地域社会の発展に貢献するとともに、災害に強い地域づくりを進め、地域社会とともに成長する企業グループを目指してまいります。

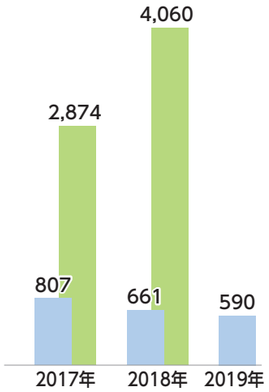
株主の皆さまにおかれましては、当社グループの取り組みに対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

第２四半期　通期

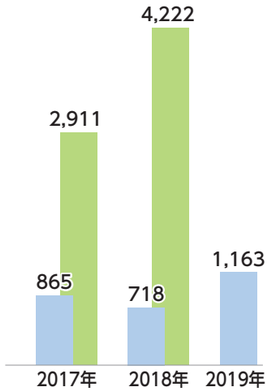
● 連結売上高（百万円）



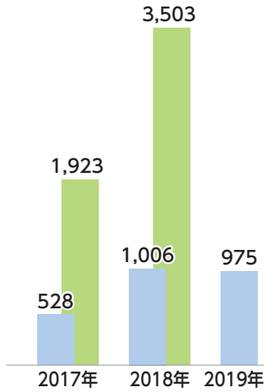
● 連結営業利益（百万円）



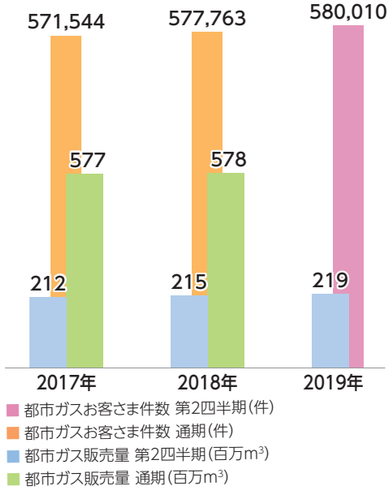
● 連結経常利益（百万円）



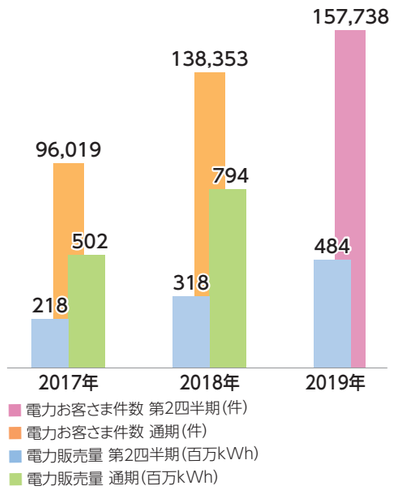
● 親会社株主に帰属する純利益（百万円）



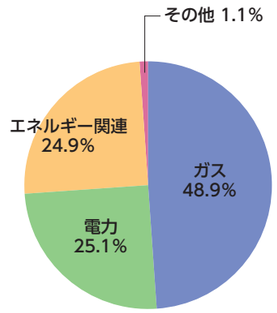
● 都市ガスお客さま件数（件）
都市ガス販売量（百万m³）



● 電力お客さま件数（件）
電力販売量（百万kWh）



● セグメント別売上高構成比



（注）セグメント別売上高には、セグメント間の売上高を含んでおりますが、連結売上高には、これを含んでおりません。

中間配当について

中間配当につきましては、本年10月30日開催の取締役会において、株主価値の維持・向上の観点から2.5円を増配し、1株につき25円とすることを決定させていただきました。なお、期末配当につきましても2.5円を増配し25円の予定です。

より詳細な財務データはこちら　北海道ガス IR　検索

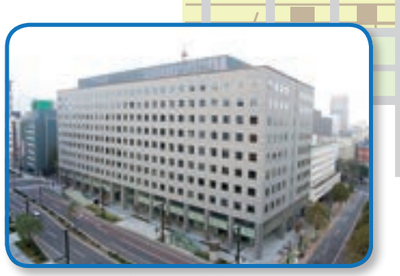
北ガスグループは札幌都心部における低炭素化、災害に強いまちづくりを進めています

北ガスグループでは、総合エネルギーサービス事業の展開の一つとして、札幌都心部における天然ガスコージェネレーションを軸とした自立分散型エネルギー供給拠点の整備・拡充により、札幌都心部の低炭素化、エネルギーセキュリティの向上を推進しております。本年は新たに「46エネルギーセンター」および「北ガス札幌発電所」の運転を開始しました。

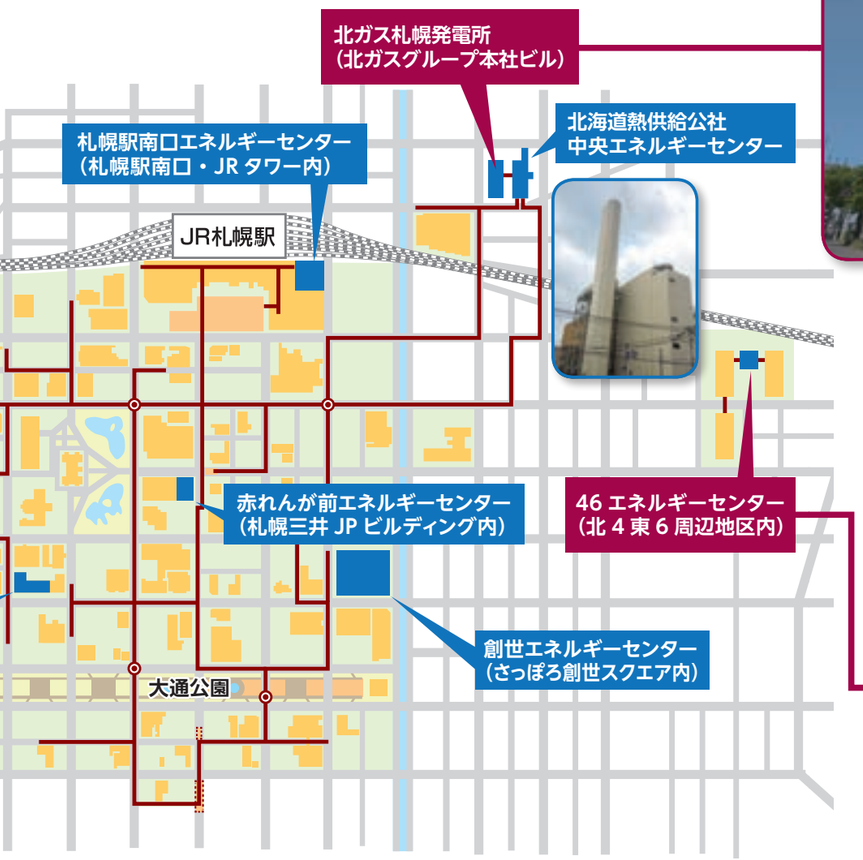
【札幌都心部における地域熱供給ネットワークおよび分散型電源】

札幌駅南口・JR タワーさま

札幌三井 JP ビルディングさま



アーバンネット札幌ビルさま



さっぽろ創世スクエアさま

【ポイント解説：地域熱供給】

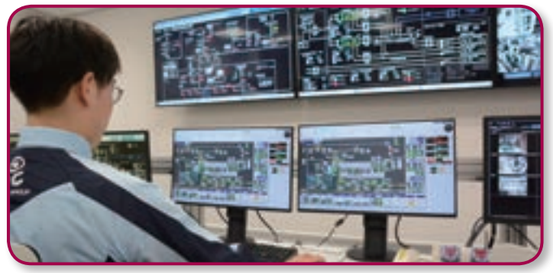
地域熱供給とは、一定地域内の建物群に熱供給設備（地域冷暖房プラント）から、冷水・温水などを熱導管を通して供給し、冷房・暖房などを行うシステムです。省エネに加えて、環境保全や利便性、安全性の向上など、様々なメリットがあります。

札幌都心部における地域熱供給は、1972年の札幌冬季オリンピックの開催を契機とし、当時のばい煙による深刻な大気汚染を解決するために導入されました。現在では、冷房・暖房などに必要な冷水・温水などを６箇所のエネルギーセンターで製造し、札幌駅から大通公園までの約100ヘクタールの都心部エリア内の86棟（供給延べ床面積約200万㎡）の建物・施設に対してエネルギー供給を行っております。

【北ガス札幌発電所が運転を開始】

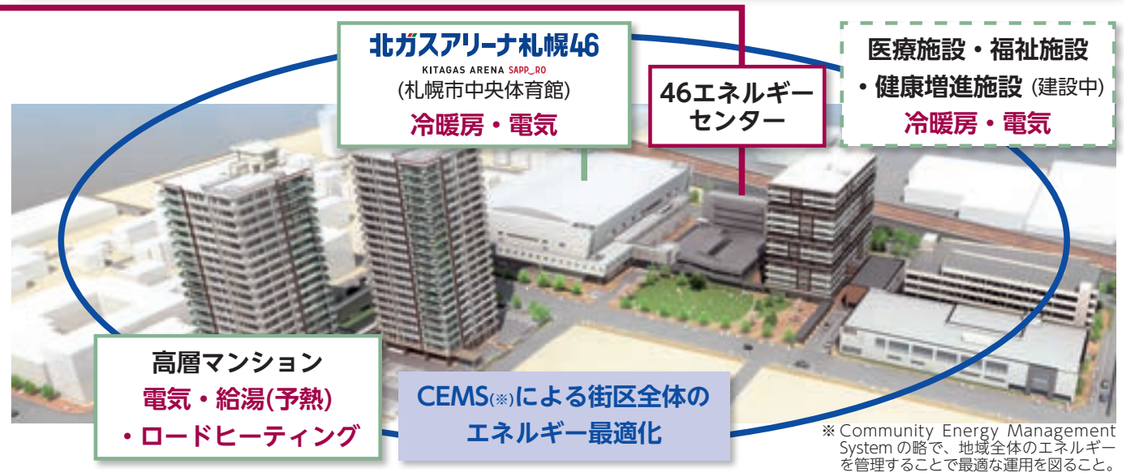
北ガスグループ本社ビルの完成にあわせて、北ガス札幌発電所の運転を開始いたしました。オフィスビルに設置される発電設備としては、国内最大級の規模となります。発電した電力は、本社ビルで使うほか、大部分を「北ガスの電気」として、北海道内のお客さまに供給しており、その供給量は一般家庭約2万５千世帯分の年間使用量に相当します。発電による排熱は本社ビルの冷暖房などに利用するほか、隣接する中央エネルギーセンターの熱源として活用し、都心部への熱供給に利用しています。

本社ビル地下に7,800kW のガスエンジンを２機設置



本社ビルの制御室で発電状況などを監視

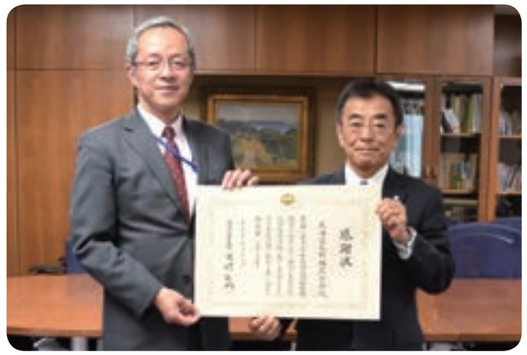
【46エネルギーセンターより地区内の建物へ電気と熱を供給】



※ Community Energy Management System の略で、地域全体のエネルギーを管理することで最適な運用を図ること。

当社の札幌工場跡地である札幌都心部再開発「北4東6周辺地区」において、エネルギーの供給・管理を担う「46エネルギーセンター」の稼働を開始しました。この地区内の建物に対して、天然ガスや再生可能エネルギー（太陽熱・地中熱）を利用し、電気・熱を供給します。道内初となるCEMS(※)を導入し、地区内のエネルギーマネジメントを行い、お客さまに省エネ・ピークシフトを働きかけるなどお客さまと一体となってエネルギーの効率的利用を図ります。また、災害時においても、札幌市の指定避難場所となる「北ガスアリーナ札幌46」をはじめ、街区全体に電気や熱を継続して供給するシステムとなっています。

北海道胆振東部地震の貢献企業として感謝状をいただきました



（左：北海道経済産業局 牧野剛局長（当時）、右：当社 大槻社長）

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震では、北海道全域で大規模な停電が発生しましたが、当社は、停電の早期復旧に向けて北海道内の電力供給量を確保するため、営業運転開始前の試運転段階にあった「石狩発電所」を1ヶ月前倒しで稼働しました。

このような当社の対応について、この度、経済産業大臣ならびに北海道経済産業局長より感謝状をいただきました。当社では、引き続きエネルギーの安定供給に一層万全を期してまいります。

子どもたちの教育支援に向けた取り組みを進めています

当社では、以下の取り組みを通じて、子どもたちがエネルギーや環境問題について学び、未来について考えるきっかけとなるエネルギー環境教育の機会を提供しています。

～親子でエネルギーを学ぶ「木質バイオマス発電丸わかりツアー」を開催～

9月7日に「木から電気をつくる？木質バイオマス発電丸わかりツアー」を開催しました。子どもたちにエネルギーや環境問題に対する意識を高めてもらうことを目的として実施しており、今回で3回目の開催となります。

ツアーには18組の親子が参加し、午前中は「三井物産の森 似湾乙（にわんおつ）山林」（勇払郡むかわ町）へ行き、のこぎりを使った間伐作業を体験しました。午後には苫小牧バイオマス発電所に移動し、大量の間伐材が保管されている様子や、発電所を見学し、間伐材を燃料とする木質バイオマス発電が環境にやさしいことを学びました。

～環境広場さっぽろ2019への出展～

8月12日、13日に札幌ドームで開催された「環境広場さっぽろ 2019」（主催：札幌市）に出展し、子どもたち向けに「発見!学ぶ楽しさキタガスクール」を開校しました。

使い終わったガス管を使った「リサイクル工作教室」や、環境にやさしい発電システムの仕組みを学ぶ「燃料電池の実験教室」など、エネルギーと環境について楽しく体験しながら学ぶことができる各種プログラムを用意して、夏休みの自由研究等、子どもたちの“学び”を応援しました。

北ガス硬式野球部REPORT　北ガス硬式野球部が初のタイトルを獲得！

～第71回JABA北海道 社会人野球結成記念大会～

※ JABA：日本野球連盟

8月17日から18日にかけて富良野市で開催された「第71回JABA北海道 社会人野球結成記念大会」において北ガス硬式野球部が優勝しました。

北ガス硬式野球部は1回戦で札幌ホーネッツに３－０で勝利し、準決勝はTRANSYSと対戦しました。試合は序盤から点数を重ね、5回裏の猛攻で一挙に7点を挙げ7回コールドで勝利し、5月の都市対抗予選で敗れた雪辱を晴らしました。

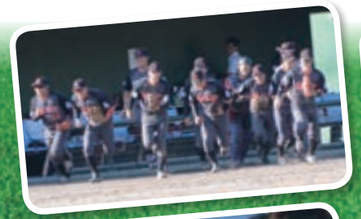
決勝はJR北海道と対戦し、初回に5点を先制されるも、その後着実に得点を重ね6回裏の攻撃で逆転、その後投手陣が踏ん張り８－７で勝利し、初優勝を飾りました。なお、本大会の最高殊勲賞には寺田選手が選ばれました。

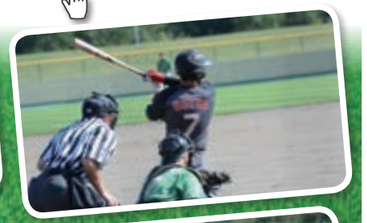
※試合の様子はこちら　北ガス野球部　検索

★ 1回戦
VS 札幌ホーネッツ
北ガス　３－０　札幌ホーネッツ

★ 準決勝
VS TRANSYS
北ガス　１０－１　TRANSYS

★ 決勝
VS JR北海道
北ガス　８－７　JR北海道





なお、9月20日から22日に開催された「第45回社会人野球日本選手権　北海道地区予選」では1勝2敗となり、北海道代表の座は逃しました。チームは今シーズンの大会を全て終え、来シーズンに向けて始動しております。今後とも北ガス硬式野球部に対するご理解とご支援をよろしくお願いします。

アクアパッツア

Cooking ガスでおいしい、パワークッキング

エネルギー（1人あたり）
139kcal

＜レシピ監修＞北ガスクッキングスクール

材料（4人分）

生鮭	80g×4切れ
あさり（カラつき）	200g
ドライトマト	3～4枚
黒オリーブ	6個
ケッパー	大さじ1杯
オリーブ油	適量
塩・こしょう	適量
みじん切りパセリ	適量
水	100ml
白ワイン	50ml

カップ1杯＝200ml・大さじ1杯＝15ml・小さじ1杯＝5ml

作り方

1. 黒オリーブは輪切りにします。
2. 魚は白ワインをふりかけ、塩・こしょうします。
3. フライパンにオリーブ油を入れて熱し、魚の両面を焼きます。
4. 魚が焼けたら、あさりと水を加え、黒オリーブ・ドライトマト・ケッパーを入れ、蓋をします。
5. あさりの口が開いたら塩・こしょう、仕上げにオリーブ油をかけ、パセリをふります。

一口メモ

ドライトマトは、熱湯で５分程度戻してから切りましょう。フライパンでできるとっても簡単なお料理です。魚は鮭や鰤・ソイ・赤魚などでもおいしくできます。ちょっとしたホームパーティーなどにも盛りつけ次第で使える便利なメニューです。あさりの塩味によって、調味する塩の量を控えましょう。あさりの旨味で味もぐんとひきたちます。

株主優待制度について

◆対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有されている株主さま

◆送付時期

毎年6月初旬の招集ご通知送付時に、「おこめ券」または「商品カタログ」を同封

◆優待品の内容

保有株数	株主優待品
100株以上200株未満	おこめ券（1kg相当）×1枚
200株以上1,000株未満	おこめ券（1kg相当）×2枚
1,000株以上	北海道特産・名産品（3,000円相当）

1,000株以上を保有されている株主さまの株主優待品例

北海道赤肉メロン

人気の北海道米
新米食べ比べセット

おこっぺハム詰合せ

秋の北海道収穫セット

※ 商品は変更となる場合があります。

会社の概況・株式情報

本社所在地

札幌市東区北七条東二丁目1番1号

主な事業内容

- ガスの製造・供給および販売
- ガス機器の販売および貸付け等
- 電力の供給および販売

取締役および監査役

代表取締役社長	大槻　博	社外取締役	中上　英俊
取締役	近藤　清隆	社外取締役	岡田美弥子
取締役	土谷　浩昭	監査役（常勤）	堤　信之
取締役	末長　守人	社外監査役（常勤）	鈴木　貴博
取締役	井澤　文俊	社外監査役	小山　俊幸
取締役	前谷　浩樹	社外監査役	井上　唯文

執行役員

社長執行役員	大槻　博	執行役員	山岸　泰
常務執行役員	近藤　清隆	執行役員	栗田　哲也
常務執行役員	土谷　浩昭	執行役員	青木　徹
常務執行役員	末長　守人	執行役員	後藤隆一郎
常務執行役員	井澤　文俊	執行役員	山崎　秀樹
常務執行役員	前谷　浩樹	執行役員	高橋　憲司
執行役員	大関　伸二	執行役員	今城　忠宣
執行役員	八木　渉	執行役員	梅村　卓司
執行役員	金沢　明法		

表紙イラスト：佐々木 小世里（ささき こより）

1992年より新聞、雑誌、広告などで活躍するイラストレーター。
主な仕事にJRタワーホテル日航札幌のゲスト用ポストカードなど。
札幌芸術の森美術館企画展「真冬の花畑」参加（2010年）。
どうしん電子版（北海道新聞）にてイラストコラム「ふわっと飛んでみたら」を連載中。
著書に「小世里のキラリ！見つけ旅」（北海道新聞社刊）がある。札幌市在住。

株式の状況（2019年9月30日時点）

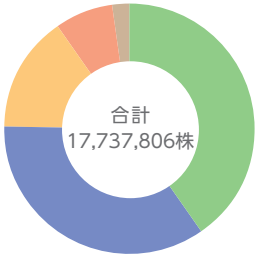
- 資本金　7,515,830,802円
- 発行可能株式総数　32,000,000株
- 発行済株式の総数　17,737,806株（自己株式を含む）
- 総株主数　7,057名

● 大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本生命保険相互会社	980	5.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	961	5.45
東京瓦斯株式会社	854	4.85
株式会社北海道銀行	685	3.89
株式会社北洋銀行	685	3.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	551	3.12
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口　再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	525	2.98
北海道信用農業協同組合連合会	495	2.81
札幌市	448	2.54
北海道瓦斯従業員持株会	435	2.47

（注）1. 株主名および持株数は、株主名簿に基づき記載しております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式（128,933株）を控除して計算しております。

● 所有者別株式数構成比



金融機関	40.35%
個人その他	34.95%
その他法人	15.11%
外国法人等	7.49%
証券会社	2.07%

※本報告書に記載の数値に表示単位未満の端数がある場合、原則としてこれを切り捨てております。

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK

KITAGAS 北のくらし、もっとできること
北海道ガス株式会社
ホームページアドレス　https://www.hokkaido-gas.co.jp/